



とらいあんぐる



2014 年 7 月 ・ 8 月

一音会ミュージックスクール発行

「孤独」

もうすぐ「ピアノ発表会」です。

発表会を目前にして、「孤独」という、暗いタイトルを選びました。それでいて、テーマは発表会です。

昨年と今年、プログラムの表紙のイラストを描きました。

昨年は、小さな女の子が、舞台そでからたった一人、緊張の面持ちで、広い舞台に足をふみだす瞬間を描きました。

その女の子は、幼い日の私です。

目の前の明るい舞台には、誰もいません。

中央に、真っ黒で巨大なピアノがそそりたっています。

照明をあびて、ピアノは光を放っています。

普段のピアノとは違い、近寄りがたい雰囲気です。ピアノは、とてもいばっているように見えます。

舞台の外は闇です。

真っ暗なので、どのくらい広いのか、分かりません。ものすごく広いことだけは分かります。

どこまでもどこまでも、黒く冷たい空気が広がっているようです。

客席には、知らない人がたくさんいます。みんなこちらを向いています。

人間がたくさんいるはずなのに、奇妙に静かです。みんな、死んでいるかのようにです。

こんなにたくさんの方が集まってい

るのを見るのは、はじめてです。

自分以外のものすべてが、現実味がなく、まるで透明で分厚い膜のむこうにあるようです。

「今、私は、ひとりぼっちだ！」

舞台そでから、足をふみだす瞬間、私の心を占めたのは、孤独感でした。

喜びでも、興奮でも、不安でも、緊張でもなく、深い孤独でした。

一人で、大きなピアノのところまで、歩いて行かなくてははいけません。

なんだかとってもピアノが遠く感じられます。こんなに心細いのに・・・足がこんなにふるえているのに・・・誰も一緒に来てはくれません。

一人で、ピアノを弾かなくてはなりません。

普段、ピアノを弾いている時には、いつも母がとなりに座ってくれるのに、今日は一人です。客席にはたくさんの人がいますが、誰もそばには来てくれません。

弾き終わるまでは、何があっても、一人で耐えなければなりません。誰も手伝ってくれません。

舞台の上では、正真正銘、ひとりぼっちです。

舞台に足をふみだす瞬間になって、やっと私はそのことに気づきます。

「たいへんなことになっている」と、愕然としました。

「はやく逃げなくては！」と思いました。

あとで、どういわれたっていいと思いました。怒られることなんて、こわくありませんでした。

逃げるために、うしろをむこうとしたその瞬間、私の背中がそっと押されます。

私の出番という合図です。

もう、逃げられません！ どうしよう！

あの幼いころに体験した発表会の日から、何度も何度も、くりかえし見た発表会の夢では、ここで目がさめます。

舞台の上でのことは、何もおぼえていません。その前後のことも、ほとんど記憶にありません。

夢の中では、いつも私は舞台のそでにいて、暗幕をにぎりしめ、舞台上のピアノをにらみながら、孤独に耐えています。

幼い日の発表会の思い出。それは、私にとっては、深い孤独だったのです。

当時、私は3歳でした。

毎日の生活の中では、家族といつも一緒でした。どこに出かけるにも、誰か大人と一緒にです。

思えばそれまで、家の外で、大人に手をひかれずに歩いた経験など、まったくありませんでした。

なのに、発表会の日、突然、舞台上のピアノのところまで、私はたった一人で歩かなくてはならなくなっているのです。

ピアノ発表会、それは人生ではじめて孤独を経験する場なのかもしれません。

大勢の人が集まる楽しい発表会、それもピアノ発表会の1つの姿です。

しかし、舞台に立たれたことがある生徒さん、ご家族の方は、違う側面をよくご存じでしょう。

ピアノ発表会は、孤独な闘いの場です。闘う相手は、自分です。

子ども時代は、いつもそばに誰かがいます。

困ればいつも、周囲に助けを求めることができます。分からないことは先生が教えてくれます。できないことは家族の誰かが助けてくれます。

でも舞台の上では違うのです。誰も手をかしてくれません。どんなに自信がなくても、すべて一人で乗り越えなくてはなりません。

今年は、広く真っ暗な会場の中、照明で四角く切り取られた空間に、一人で立つ、小さな男の子の姿を描きました。

客席には、たくさんの方がいます。

でも、男の子は、実はひとりぼっちです。

今年も、たくさんの生徒さんが孤独と闘う日がやってきます。

がんばれ！ 遠い日の思い出を胸に、心の中でそう叫ぶのです。

(江口 彩子)



←2013年

ピアノ発表会表紙

◆「あわてんぼうひよこ」のリハーサルをおこなっています

「ピアノ発表会」が近づいてきました。

0～3歳で、リトミックのレッスンを受けている生徒さんは、8月3日と4日に、リトミック発表をおこないます。

7月6日（日）には、「ひびきホール」で、第1回目のリハーサルをおこないました。暑い日でしたが、たくさんの生徒さんが集まってくださいました。貴重なお休みの日に、ご協力くださいましたご家族の皆さま、本当にありがとうございました。

生のパーカッションの迫力に、最初はびっくりしてしまったお友だちも、最後はニコニコ顔でがんばってくれました。着々と仕上がっています。発表会での、かわいらしい熱演を、どうかお楽しみに。

なお、7月21日（祝）13：30～に、第2回リハーサルをおこなう予定です。出演される生徒さんは、ぜひ参加して、本番の雰囲気を経験しておいてください。

◆いよいよ「ピアノ発表会」です

ピアノ発表会は、下記の通りです。

8月1日（金）・2日（土）・3日（日）・4日（月）
かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール
（京成青砥駅より徒歩5分）

とうとう、のこり1か月を切りました。練習に余念のない毎日をお過ごしとしたいと思います。

日々の生活が忙しく、まだ思うように仕上がらない生徒さんも、いらっしゃるかもしれませんね。しかし、私どもは例年、最後の1か月足らずのラストスパートで、急激に上手になる生徒さんを、たくさん目の当たりにしてきました。

舞台上上がることの意味は、舞台上がって不安と緊張の中でも力を発揮する経験を積むことだけではありません。本番の日に向けて、あわてて、あるいは先生に怒られて、練習をし、大きく成長することにもあります。発表会を経験することで、生徒さんがぐんと伸びるのは、実は本番までの1か月に、その鍵があります。

今年も、たくさんの生徒さんが、私たちに驚かせてくれることでしょう。この1か月の成長が、楽しみです。

現在、「ピアノ発表会 しおり」と「ピアノ発表会 プログラム」をお配りしています。主担当の先生からお渡しするようにしています。

「ピアノ発表会」では、すべての生徒さんにすてきな演奏をしていただくことが大きな目標ですが、それ以上に重要な目標として、お一人のケガ人を出すこともなく、無事に進行させるということがあります。

生徒さんが舞台上上がるまで、また演奏を終えてご家族のもとに戻るまで、誘導には多くのスタッフを配しています。客席からは見えない舞台そでは、上手にも下手にも、たくさんのスタッフがいますので、どうかご安心ください。

スタッフ一同、事故をおこさないよう、目を光らせるつもりでおりますが、やはりご家族の皆さまのご協力も不可欠です。会場で不審な人物を見かけた場合には、会場の受付スタッフにご連絡ください。

その他、当日、ご不安なこと、ご不明なことがありましたら、遠慮なくスタッフにおっしゃってください。一音会Tシャツを着ている者はすべて、対応いたします。

◆お客さんの経験も大切です

「ピアノ発表会」では、自分が発表することに、気持ちが集中しがちです。しかし同時に、たくさんのお友だちの演奏を一举にきくことができる、貴重なチャンスでもあります。

ぜひ、一人でも多くのお友だちの演奏を、客席できいてください。これまで知らなかった、すてきな曲との出会いもあるでしょう。また、同じ曲でも、表現は弾く人によってさまざまであり、それを知ることは、とても良い勉強になります。

少なくとも、自分の出演する部は、最後まできいてみてください。そして、お友だちにたくさんの拍手を送ってあげてください。

なお、演奏中の出入りは、おひかえください。生徒さんも、ご家族の皆さまも、一音会関係の方は、演奏会のマナーをよくご存知です。ですので、いつもマナーをお守りいただき、演奏するお友だちが不快な思いをすることなく、演奏会が進行していま

す。その点も、一音会の誇りです。

しかし、発表会では、おじい様やおばあ様、学校のお友だちなど、ピアノ発表会の経験がないお客様もいらっしゃるためか、残念ながらマナー不徹底の印象があります。小さなお子さまの場合は途中退席がやむを得ない場合もありますが、どうか演奏の途中で席をお立ちになる方がいらっしゃらないよう、ご協力をお願いいたします。

当日、スタッフからもお声かけをするつもりでおりますが、ご家族以外の方をお招きになる場合には、事前にマナーについて、お伝えいただきたいと思っております。

◆「ピアノ・トライ」をおこないます

今年も秋に、「ピアノ・トライ」をおこないます。

「ピアノ・トライ」は、演奏を披露することが目的ではなく、あえて実力がはっきりあらわれる、エチュードなどの課題曲を弾き、ベテランの先生からコメントをもらい、成長の糧にするものです。

1年に1回の機会を利用し、今現在の自分の状態とこれからの課題を把握することで、また1年、より効果的なおけいこをすることができます。毎年、「ピアノ・トライ」を受けて、年ごとに大きく成長される生徒さんが、たくさんいらっしゃいます。

(1) 電話申込み (電話03-5966-7711)

10月1日(水)と10月4日(土) (各日先着順で承ります)

(各日朝10:00~夕方16:00までの受付)

(2) 日程 (全て「バッハはうす」でおこないます)

11月 8日(土)	(土2・4)	初級・中級	(山本先生予定)
11月 9日(日)	(日②)	初級・中級	(夏目先生予定)
11月16日(日)	(日①)	中級～	(夏目先生予定)
11月24日(祝・月)		初級・中級	(能勢先生予定)
11月29日(土)	(土1・3)	初級・中級	(山本先生予定)
11月30日(日)	レッスンなし	中級～	(夏目先生予定)

※ 進度は目安ですので、日程的なご都合を優先していただいて大丈夫です。進度の大きく異なるご兄弟を、同じ日の時間帯にお組みすることもできます。

(3) 料金 (当日、封筒に記名し、なるべくおつりの無いようにお持ちください)
2160円

(4) 課題曲

バッハの作品、もしくはエチュード。

ただし、絵音符の生徒さん、まだ五線の曲に入ったばかりの生徒さんの曲目は自由です。

◆スケジュールをお知らせします

「ピアノ発表会」が終わると同時に、教室が夏休みになります。一音会本部の夏休みは8月10日(日)～15日(金)です。その間は、お問い合わせにお応えできなくなりますことを、ご了承ください。

夏休みあけのレッスンは、8月17日(日)からです。お間違えのないよう、今一度、年間スケジュール表をご確認ください。皆さまにとって、楽しい夏休みになりますことを、心から願っています。

◆車にご注意ください

最近、ショパンはうす近隣の方から、ご注意を受けてしまいました。

先日、ショパンはうすから自転車で飛び出してきた生徒さんと車が、あわや接触という、事故直前のできごとが起きていたそうです。幸い、接触にいたらず、生徒さんは無事でした。

しかし、一音会出入り口は「しょっちゅう子どもが飛び出してくる、要注意地点」として、近隣の車を運転される方々からマークされているそうです。

ご注意ください方は、「運転する側は、一音会出入り口付近は特に気をつけて運転している。しかし先日のように、運転側が注意するだけでは防げないこともある。お

子さん側で注意するよう、指導してもらえないか」と、おっしゃいました。

幸い、これまで生徒さんの事故がなかったのは、近隣の方々がよく気をつけてくださっていたからであったことを知りました。

どうか、教室の行き帰り、車には十分にお気をつけください。お子様だけで通学している場合も、おうちの方から、車に気をつけるよう、ご指導をお願いいたします。

◆一音会がテレビ取材を受けました

7月11日（金）に、一音会のリトミックがテレビ取材を受けました。CS放送、「鼓膜」という音楽番組です。放映日は、7月24日（木）22時～です。

タレントの千原ジュニアさんと、ミュージシャンの蔦谷好位置さんが、一音会を訪れ、一音会のリトミックの体験レッスンを受けました。音楽経験のない千原さんが、音楽に合わせて身体を動かすことで、音楽の楽しさを学ぶという趣旨の番組です。

取材にご協力くださった生徒さんには、心から御礼を申し上げます。



←千原さんと蔦谷さんから記念にサインをいただきました。現物はショパンはうす受付に飾ってあります。

スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電話：03-3954-9999

- * お電話での質問時間は、毎週水曜日の午後7時半～9時半です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。
- * ご質問は、多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただいています。ご了承ください。